

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	3-4	政策名	スポーツの振興	政策の 目指す姿	いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、元気に活動しています	施策 主管課	スポーツ振興課	施策主管 課長名	菊池郁哉
	施策No.	1	施策名	生涯スポーツの推進	施策の 目指す姿	生涯にわたり気軽にスポーツを行っています	関係課名			
	現状と課題	<p>・本市では、総合体育館第3アリーナの整備や陸上競技場の大規模改修など、市民のスポーツ活動の場を提供してきました。また、スポーツ少年団活動や早起きマラソンなど、地域に根ざした生涯スポーツ活動が定着しています。</p> <p>・その一方で、市民(20歳以上)の週1回以上運動している割合は47.6%(市民アンケート)であり、近年その割合は増加していない状況です。また、ほとんど運動をしていない市民(20歳以上)の割合は40.2%と、運動をしていない市民が多い状況となっています。</p>								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組実績

<p>(1)生涯スポーツ活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○早起きマラソンの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・5月8日から10月10日までの156日間、市内67カ所を会場に開催 ○多様なスポーツ教室やスポーツイベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・花巻市スポーツ推進委員、花巻市体育協会が実施する多様なスポーツ教室開催に対する支援 ・花巻市スポーツ少年団本部の活動に対する支援 ○地域のスポーツ指導者等の養成、派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員を県内外の研修会、市内各地域のスポーツ教室等へ派遣 ○ニュースポーツの普及 <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ交流大会、各地域でのニュースポーツ教室の開催に対する支援 ○スポーツ施設の整備、維持修繕と有効活用 <ul style="list-style-type: none"> ・各スポーツ施設の維持管理

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
地域で行うスポーツ教室や早起きマラソン等の延べ参加者数	地域における早起きマラソンやスポーツ教室などの生涯スポーツに取り組む市民の状況を示す指数	市スポーツ振興課が把握する以下の数値 (1)市スポーツ指導員、スポーツ推進委員、地域スポーツ推進員が講師となって実施されるスポーツ教室等の延べ参加者数 (2)早起きマラソンの延べ参加者数 (3)総合型スポーツクラブが実施するスポーツ教室等の延べ参加者数	人	目標値				220,500	225,000	230,000
				実績値	194,319	215,373	216,806	216,397	190,981	174,404
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<p>■成果指標「地域で行うスポーツ教室や早起きマラソン等の延べ参加者数」・・・【達成度c】</p> <p>花巻市体育協会、スポーツ少年団本部及び市スポーツ推進委員等が指導するスポーツ教室等の参加者数は、ほぼ横ばいの状況にあるが、早起きマラソンの延べ参加者数の減少により目標の達成に至らなかった。これは、市の人口が減少傾向にあり、早起きマラソンに参加する絶対数の減少が要因の一つと考えられる。</p>

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1	地域スポーツ推進事業	スポーツ振興課	A	C
	スポーツ教室やスポーツイベントの開催、スポーツ・レクリエーション指導者の養成・確保、スポーツ団体の育成 (スポーツ推進委員等が指導するスポーツ教室等の参加者数:3,876人)			
2	地域スポーツ支援事業	スポーツ振興課	A	A
	花巻市体育協会等の活動や、スポーツ少年団本部事業の支援 (体育協会及びスポーツ少年団本部主催のスポーツ教室等の実施回数:377回)			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)
なし

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

・早起きマラソン普及推進の取組が必要である。

(新たに取り組むべき事業はないか)

なし

6 施策の総合的な評価

(課題)

・早起きマラソンの参加者数が減少傾向にあることから、各会場での参加者数増加への対策が必要である。

(今後の方向性)

・市の人口が減少傾向にあり早起きマラソンに参加する絶対数が減少していることから、参加者の中心である児童・生徒のほか一般参加者への参加呼びかけを行うなど、地域ぐるみで取り組める方策を検討する。